

2021 年度第 1 四半期決算説明会における主要な質疑応答

質問	回答
<p>Q1 : 2021 年度第 1 四半期の売上・営業利益が好調だった理由を教えてください。</p>	<p>A1 : モーターサイクル&エンジン事業の販売が想定以上に進捗しました。2020 年度第 2 四半期以降現在に至るまで末端販売が好調なことに加え、2020 年度第 4 四半期に起きた物流混乱による一部製品の到着遅延によって卸売が 2021 年度第 1 四半期にずれ込み、結果として売上・営業利益の向上につながりました。</p>
<p>Q2 : ボーイング社が、787 型機の生産レートは一時的に月産 5 機を下回ると発表していますが、このことが航空宇宙システム事業の 2021 年度業績予想にどの程度の影響を与えますか。</p>	<p>A2 : ボーイング社の発表のとおり、生産レートの低下はあくまでも一時的なものであり、当社の 2021 年度業績予想に与える影響は限定的と認識しています。</p>
<p>Q3 : 足元のジェットエンジンの市況（新型コロナウイルス感染拡大の影響によって落ち込んだ旅客需要の回復度合い）は、2020 年度決算発表時点の予想と比べて変化していますか。</p>	<p>A3 : 足元の状況は、2020 年度決算を発表した 2021 年 5 月時点の予想から大きな差異はありません。</p>
<p>Q4 : モーターサイクル&エンジン事業における 2021 年度通期の業績予想について、第 2 四半期～第 4 四半期の売上計画に対して営業利益計画が低調な理由を教えてください。</p>	<p>A4 : 足元の末端販売は好調が継続しておりますが、一方で物流混乱や材料費の高騰、半導体および樹脂不足を背景とした費用増のリスクは依然大きく、解消時期も不透明なため、利益計画にはこれらのリスクを反映しています。）</p>
<p>Q5 : 水素関連事業の売上は、いつごろから計上される計画ですか。</p>	<p>A5 : 2021 年度は、技術実証の段階のため大きな売上はありません。2025 年度の商用化に向けて、その少し前から徐々に売上が拡大していく計画です。</p>

以上